



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場会社名 兼房株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 5984 URL <http://www.kanefusa.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 渡邊 将人

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 稲葉 公男

TEL 0587-95-2821

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,485	10.5	512	88.3	356	156.1	173	74.9
23年3月期第2四半期	6,771	28.7	272	—	139	—	99	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 270百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △16百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	12.46	—
23年3月期第2四半期	7.13	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	21,446	17,634	82.2
23年3月期	21,077	17,461	82.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 17,634百万円 23年3月期 17,461百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
24年3月期	—	7.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	9.6	1,130	85.6	1,050	116.2	580	101.3	41.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料P.3「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	14,310,000 株	23年3月期	14,310,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	409,231 株	23年3月期	409,231 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	13,900,769 株	23年3月期2Q	13,900,811 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
4. 補足情報 .....	11
(1) 販売の状況（国内・海外別売上高、製品別売上高） .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により一時的に停滞を余儀なくされましたが、サプライチェーンの復旧に伴い各企業の生産活動が徐々に回復し、個人消費においても持ち直しの動きが見られました。一方、世界経済は、米国経済の停滞懸念、欧州の金融不安を背景に急激なドル安・ユーロ安となっており、依然予断を許さない状況が続いております。

当社製品と関連の深い国内住宅関連産業では、新設住宅着工戸数は回復傾向が見られるものの、依然として低水準で推移いたしました。また、自動車関連産業では、東日本大震災後、国内のみならず海外でもサプライチェーンの混乱により自動車の生産台数は急激に落ち込み、その後回復いたしました。先行きはいまだ不透明であります。

このような状況の下、当社グループはグローバル市場での販売拡大、海外生産の増強、非住宅関連市場の開拓、国内住宅関連市場の占有率拡大などを目指し、戦略的な製品開発、生産、営業活動を展開いたしました。国内における売上は、木工用丸鋸や合板用刃物などが好調に推移し、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに堅調に推移しました。一方、海外での売上は、欧州・米国及びアジア市場を中心に金属切断用丸鋸、木工用丸鋸などが好調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は74億8千5百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

利益面につきましては、営業利益は5億1千2百万円（前年同期比88.3%増）となりましたが、急激な円高により営業外費用で為替差損1億6千3百万円を計上し、経常利益は3億5千6百万円（前年同期比156.1%増）となり、特別損失で投資有価証券評価損4千3百万円を計上したことなどにより、四半期純利益は1億7千3百万円（前年同期比74.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 日本

国内では住宅・非住宅関連刃物ともに総じて増加し、海外では金属切断用丸鋸が大幅に増加したことなどにより、売上高は68億6千4百万円（前年同期比11.9%増）となり、売上高が堅調に推移したことから、営業利益は4億3千5百万円（前年同期比253.8%増）となりました。

## ② インドネシア

製紙用刃物などが増加したものの、木工用丸鋸やカッター類などが減少し、売上高は6億9千万円（前年同期比9.2%減）となりました。利益面では、ストライキは終息したものの、生産体制の回復の遅れなどから採算性が悪化し、営業損失は5千6百万円（前年同期は5千5百万円の営業利益）となりました。

## ③ 米国

金属切断用丸鋸などが増加したものの、製本紙工用刃物などが減少し、売上高は3億6千4百万円（前年同期比10.2%減）となりました。利益面では、経費削減などにより営業利益は3千8百万円（前年同期比32.8%増）となりました。

## ④ 欧州

金属切断用丸鋸や木工用丸鋸などが増加し、売上高は7億9百万円（前年同期比45.5%増）、営業利益は8千2百万円（前年同期比141.8%増）となりました。

## ⑤ 中国

金属切断用丸鋸や木工用丸鋸などが増加し、また、昆山兼房精密刀具有限会社を新たに連結の範囲に含めたことから、売上高は6億7千8百万円（前年同期比71.1%増）、営業利益は3千5百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

なお、セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末においては、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べて現金及び預金が3億1千万円増加、原材料及び貯蔵品が1億5千6百万円増加し、また、有形固定資産が9千6百万円増加、投資その他の資産が1億2千4百万円減少したことなどにより、総資産は前期末比3億6千8百万円増加して214億4千6百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が1億4千4百万円増加したことなどにより、前期末比1億9千5百万円増加して38億1千2百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が8千9百万円増加、その他の包括利益累計額が前期末比8千3百万円増加したことなどにより、前期末比1億7千3百万円増加して176億3千4百万円となりました。また、自己資本比率は前期末の82.8%から82.2%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2億4千3百万円増加し、当第2四半期末には34億1千2百万円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より昆山兼房精密刀具有限公司を連結の範囲に含めたことにより、期首残高が2千2百万円増加しております。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は9億3千万円(前年同期比17.5%増)となりました。これは主に、たな卸資産の増加で2億1千8百万円の減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益が3億1千2百万円となり、減価償却費で4億8千3百万円、仕入債務の増加で1億3千4百万円の増加要因があったことなどによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5億7千9百万円(前年同期比64.0%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出で5億1千7百万円、定期預金の預入と払戻による純額の支出で5千8百万円の支出があったことなどによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億4百万円(前年同期比0.1%減)となりました。これは、配当金の支払額であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成23年10月28日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

連結売上高150億円、営業利益11億3千万円、経常利益10億5千万円、当期純利益5億8千万円を見込んでおります。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、昆山兼房精密刀具有限公司(中国)を連結の範囲に含めております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,776,591	4,087,415
受取手形及び売掛金	3,990,659	4,071,488
商品及び製品	1,284,800	1,383,355
仕掛品	670,264	678,977
原材料及び貯蔵品	1,321,039	1,477,859
その他	890,464	641,531
貸倒引当金	△27,170	△26,855
流動資産合計	11,906,648	12,313,771
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,802,793	2,740,086
機械装置及び運搬具(純額)	2,964,493	2,916,271
その他(純額)	2,033,557	2,240,500
有形固定資産合計	7,800,844	7,896,859
無形固定資産	162,227	152,133
投資その他の資産	1,207,955	1,083,640
固定資産合計	9,171,027	9,132,633
資産合計	21,077,675	21,446,405

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,713,652	1,857,861
未払法人税等	44,642	25,243
賞与引当金	333,562	351,128
その他	757,038	875,282
流動負債合計	2,848,896	3,109,516
固定負債		
退職給付引当金	536,589	507,354
その他	231,028	195,172
固定負債合計	767,618	702,527
負債合計	3,616,515	3,812,043
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,142,500	2,142,500
資本剰余金	2,167,890	2,167,890
利益剰余金	13,569,585	13,658,835
自己株式	△208,420	△208,420
株主資本合計	17,671,555	17,760,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	194,046	134,066
為替換算調整勘定	△404,442	△260,511
その他の包括利益累計額合計	△210,395	△126,444
純資産合計	17,461,160	17,634,361
負債純資産合計	21,077,675	21,446,405

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	6,771,050	7,485,027
売上原価	4,613,330	4,959,190
売上総利益	2,157,719	2,525,836
販売費及び一般管理費	1,885,584	2,013,462
営業利益	272,134	512,374
営業外収益		
受取利息	1,927	2,068
受取配当金	9,462	11,444
助成金収入	6,025	—
その他	8,338	12,050
営業外収益合計	25,753	25,563
営業外費用		
売上割引	15,489	16,393
為替差損	142,661	163,902
その他	352	648
営業外費用合計	158,503	180,944
経常利益	139,385	356,993
特別利益		
固定資産売却益	1,743	1,011
会員権売却益	—	176
特別利益合計	1,743	1,188
特別損失		
固定資産除却損	6,272	2,518
投資有価証券評価損	1,625	43,239
役員退職慰労金	20,397	—
特別損失合計	28,294	45,757
税金等調整前四半期純利益	112,833	312,423
法人税等	13,781	139,197
少数株主損益調整前四半期純利益	99,052	173,226
四半期純利益	99,052	173,226

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	99,052	173,226
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△38,205	△59,979
為替換算調整勘定	△76,855	157,548
その他の包括利益合計	△115,061	97,568
四半期包括利益	△16,008	270,794
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,008	270,794
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	112,833	312,423
減価償却費	508,593	483,731
のれん償却額	4,708	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△35,292	△30,953
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△221,002	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	31,958	15,716
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,473	9,883
受取利息及び受取配当金	△11,389	△13,512
為替差損益 (△は益)	159,709	151,314
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,625	43,239
固定資産売却損益 (△は益)	△1,743	△1,011
売上債権の増減額 (△は増加)	△273,570	△64,304
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△53,179	△218,460
仕入債務の増減額 (△は減少)	226,997	134,497
未払又は未収消費税等の増減額	△76,201	△4,093
長期未払金の増減額 (△は減少)	223,968	△34,127
その他	229,304	210,566
小計	821,846	994,908
利息及び配当金の受取額	11,868	13,538
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△41,690	△78,006
営業活動によるキャッシュ・フロー	792,024	930,440
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△500,000	△675,260
定期預金の払戻による収入	500,000	616,840
有形固定資産の取得による支出	△175,880	△517,916
有形固定資産の売却による収入	1,743	3,135
無形固定資産の取得による支出	△3,260	△420
投資有価証券の取得による支出	△5,852	△6,747
関係会社出資金の払込による支出	△167,641	—
貸付けによる支出	△5,344	△3,000
貸付金の回収による収入	2,829	3,662
その他	—	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△353,404	△579,679
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△58	—
配当金の支払額	△104,256	△104,255
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104,315	△104,255
現金及び現金同等物に係る換算差額	△72,779	△25,365
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	261,524	221,139
現金及び現金同等物の期首残高	3,115,024	3,168,711
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	22,304
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,376,549	3,412,155

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	計
売上高						
外部顧客への売上高	5,198,796	671,034	405,965	487,637	—	6,763,432
セグメント間の内部売上高又は振替高	935,790	89,732	—	67	396,571	1,422,161
計	6,134,586	760,766	405,965	487,704	396,571	8,185,593
セグメント利益	122,985	55,987	29,125	33,937	32,875	274,911

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	7,617	6,771,050	—	6,771,050
セグメント間の内部売上高又は振替高	34,800	1,456,961	△1,456,961	—
計	42,417	8,228,011	△1,456,961	6,771,050
セグメント利益	4,091	279,003	△6,868	272,134

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の警備・環境整備、損害保険代理業務などの周辺業務請負事業であります。

2. セグメント利益の調整額△6,868千円には、セグメント間取引消去△19,107千円、のれんの償却額△4,709千円、棚卸資産の調整額17,810千円、その他△862千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	計
売上高						
外部顧客への売上高	5,528,336	660,073	364,458	709,463	215,709	7,478,041
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,336,285	30,425	47	—	462,995	1,829,754
計	6,864,622	690,498	364,505	709,463	678,705	9,307,795
セグメント利益又は損失(△)	435,070	△56,986	38,683	82,072	35,916	534,756

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	6,985	7,485,027	—	7,485,027
セグメント間の内部売上高又は振替高	90	1,829,844	△1,829,844	—
計	7,075	9,314,871	△1,829,844	7,485,027
セグメント利益又は損失(△)	2,429	537,186	△24,812	512,374

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理店業務などであります。

2. セグメント利益の調整額△24,812千円には、セグメント間取引消去△4,133千円、棚卸資産の調整額△23,779千円、その他3,100千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 第1四半期連結会計期間より、昆山兼房精密刀具有限公司を連結範囲に含めたことに伴い、「中国」の外部顧客への売上高は215,709千円、セグメント間の内部売上高又は振替高は2,436千円、セグメント利益は22,577千円それぞれ増加しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 販売の状況

## ① 国内・海外別売上高

(単位：百万円、%)

	前第2四半期実績		当第2四半期実績		前年同期比	24年3月期通期計画	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
国内	4,380	64.7	4,615	61.7	105.4	9,510	63.4
海外	2,390	35.3	2,869	38.3	120.1	5,490	36.6
アジア	1,335	19.7	1,552	20.7	116.3	3,050	20.3
アメリカ	427	6.3	423	5.7	99.1	860	5.7
ヨーロッパ	537	8.0	798	10.7	148.7	1,410	9.4
その他	89	1.3	94	1.2	105.3	170	1.2
合計	6,771	100.0	7,485	100.0	110.5	15,000	100.0

## ② 製品別売上高

(単位：百万円、%)

	前第2四半期実績		当第2四半期実績		前年同期比	24年3月期通期計画	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
平刃類	2,441	36.1	2,557	34.2	104.7	5,040	33.6
カッター類	1,620	23.9	1,691	22.6	104.4	3,440	22.9
丸鋸類	2,579	38.1	3,134	41.9	121.5	6,300	42.0
商品	129	1.9	101	1.3	78.1	220	1.5
合計	6,771	100.0	7,485	100.0	110.5	15,000	100.0